

令和7年度 調布市立第七中学校 指導計画・評価計画表

【1年生 国語科】

観点 1 知識・技能 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観 点	単元の評価基準	具体的評価基準（おおむね満足 B ）	評価方法・場面	弱点克服の手立て
全単元共通で通年で行う 特に、漢字・文法・文学史を含む内容については全単元で指導を行う。	1	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くことができる。 ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くことができる。	・漢字の読み書きテストの正解率が50%以上である。 ・字形や運筆、書き順などに注意し正確に課題の字を書くことができる。 ・語彙の習得に努め、多様な表現に生かすことができる。 ・文字を正しく整えて速く書き写すことができる。	・定期考査 ・小テスト ・暗誦テスト ・聞き取りテスト ・音読テスト ・毛筆、硬筆課題	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	A 話すこと・聞くこと ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 B 書くこと ・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。 C 読むこと ・目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。	A 話すこと・聞くこと ・表現力豊かに様々な種類の読み物を朗読できる。 ・相手の立場や考えを尊重し、テーマや目的に沿って発表を聞き取ることができる。 ・相手や目的に応じて適切に内容や表現を選択し工夫して発表をすることができる。 B 書くこと ・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。 C 読むこと ・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。 ・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。	【話す・聞く】 ・スピーチ ・プレゼン発表 ・定期考査 ・小テスト ・暗誦テスト ・聞き取りテスト ・朗読テスト 【書く】 ・定期考査 ・小テスト ・作文などの課題 ・詩歌創作 ・ノート 【読む】 ・定期考査 ・小テスト	
	3	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したり	・ノートを正確に取り、積極的に授業に参加しようと	・授業態度観察 ・発言意欲	

		することができるようにする。 ・筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 ・主体的に授業の活動に参加し、より深い学びにしよう工夫及び努力をしている。	している。 ・課題の意図や意味を認識し、積極的に取り組もうとしている。 ・問題集などの効果を認識し、提出物を望ましい状態で完了し提出している。 ・意味を踏まえて漢字の習得をしようとしている。 ・学習の内容や取り組みの状態を振り返り、今後の学習に生かそうとしている。	・ファイル、ノート ・ワーク ・作品、課題	
4月 【言葉に出会うために】 ・朝のリレー ・野原はうたう	1	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。	・表現力豊かに様々な種類の読み物を朗読できる。	・小テスト ・暗誦テスト ・音読テスト	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	A 話すこと・聞くこと ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 B 書くこと ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。 ・読み物や調べた内容をもとに、伝え方を考え、書き方に注意して、読み手を意識した文章を書くことができる。	【話す・聞く】 ・スピーチ ・朗読テスト 【書く】 ・作文などの課題 ・詩歌創作 ・ノート	
	3	(共通項目)	(共通項目)		
5月 【学びをひらく】 ・はじまりの風 ・情報を聞き取り、要点を伝える ・話の構成を工夫しよう ・漢字の組み立てと部首(漢字1) ・漢字に親しもう1	1	・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。	・文法や用語のテストの正解率が50%以上である。	・小テスト	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	A 話すこと・聞くこと ・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 B 書くこと ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることが	・相手や目的に応じて適切に内容や表現を選択し工夫して発表をすることができる。 ・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。 ・読み物や調べた内容をもとに、伝え方を考え、書き方に注意して、読み手を意識した文章を書くことができる。	【話す・聞く】 ・スピーチ ・プレゼン発表 【書く】 ・小テスト ・作文などの課題 ・詩歌創作 ・ノート	

		できる。			
	3	(共通項目)	(共通項目)		
6月 【新しい視点で】 ・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・比較/分類 ・情報を整理して説明しよう ・漢字に親しもう2 (漢字2) ・指示する語句と接続する語句 (言葉1)	1	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	・文法や用語のテストの正解率が50%以上である。 ・定期考査で「知識・技能」の点数が50%以上である。	・定期考査 ・小テスト ・聞き取りテスト	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	A 話すこと・聞くこと ・自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 B 書くこと ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 C 読むこと ・文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。	・聞き取りテストの点数が50%以上である。 ・定期考査で「書くこと」に関する問題の正答率が50%以上である。 ・定期考査で「読むこと」に関する問題の正答率が50%以上である。 ・相手や目的に応じて適切に内容や表現を選択し工夫して発表をすることができる。 ・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。 ・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。	【話す・聞く】 ・スピーチ ・定期考査 ・小テスト ・聞き取りテスト 【書く】 ・定期考査 ・小テスト ・作文などの課題 ・詩歌創作 ・ノート 【読む】 ・定期考査 ・小テスト	
	3	(共通項目)	(共通項目)		
	1	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	・文法や用語のテストの正解率が50%以上である。	・小テスト	
7月 【言葉に立ち止まる】 ・空の詩 ・比喩で広がる 言葉の世界 ・語彙を豊かに ・様々な表現技法 ・言葉のまとまり を考えよう (文法1) 【情報×SDGs】 ・情報収集の達人になろう	2	B 書くこと	・読み物や調べた内容をもとに、伝え方を考え、	【書く】	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡

【いつも本はそばに】 ・読書を楽しむ ・本の中の中学生		・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。 C 読むこと ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基に捉えることができる。	書き方に注意して、読み手を意識した文章を書くことができる。 ・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。 ・語彙の習得に努め、多様な表現に生かすことができる。 ・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。	・小テスト ・作文などの課題 ・詩歌創作 ・ノート 【読む】 ・小テスト ・感想レポート	
	3	(共通項目)	(共通項目)		
9月 【心の動き】 ・大人になれなかった弟たちに… ・星の花が降るころに ・聞き上手になろう ・項目を立てて書こう ・読み手の立場に立つ ・方言と共通語(言葉2) ・漢字の音訓(漢字2)	1	・共通語と方言の果たす役割について理解することができる。	・定期考査で「知識・技能」の点数が50%以上である。	・定期考査 ・小テスト	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	A 話すこと・聞くこと ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。 C 読むこと ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基に捉えることができる。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。	・聞き取りテストの点数が50%以上である。 ・定期考査で「書くこと」に関する問題の正答率が50%以上である。 ・定期考査で「読むこと」に関する問題の正答率が50%以上である。	【話す・聞く】 ・スピーチ ・プレゼン発表 ・小テスト ・聞き取りテスト 【読む】 ・定期考査 ・小テスト	
	3	(共通項目)	(共通項目)		
10月 【筋道を立てて】 ・[言葉]を持つ鳥、シジウカラ ・意見と根拠 ・根拠を明確にして書こう ・大阿蘇(音読) ・漢字に親しもう3 ・言葉の関係を考えよう(文法2)	1	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。	・文法や用語のテストの正解率が50%以上である。	・小テスト	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	A 話すこと・聞くこと ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 C 読むこと ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考え	・討論活動において積極的に情報を収集し、相手の気持ちや考えをくみ取りながら意見交換をすることができる。 ・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。	【話す・聞く】 ・話し合い活動 【読む】 ・定期考査 ・小テスト	

		を確かなものにすることができる。			
	3	(共通項目)	(共通項目)		
11月 【いにしえの心にふれる】 ・古典の世界 ・いろは歌 ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉	1	・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ・古典には様々な種類の作品があることを知ることができる。	・定期考査で「知識・技能」の点数が50%以上である。 ・古文、古語単語のテストの正解率が50%以上である。 ・古文・漢文の基礎知識、基本単語を理解することができる。	・定期考査 ・小テスト ・暗誦テスト ・聞き取りテスト	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	B 書くこと ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 C 読むこと ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基に捉えることができる。	・聞き取りテストの点数が50%以上である。 ・定期考査で「書くこと」に関する問題の正答率が50%以上である。 ・定期考査で「読むこと」に関する問題の正答率が50%以上である。	【書く】 ・定期考査 ・小テスト ・作文などの課題 ・詩歌創作 ・ノート 【読む】 ・定期考査 ・小テスト	
	3	(共通項目)	(共通項目)		
12月 【価値を見出す】 ・「不便」の価値を見つめ直す ・原因と結果 ・話し合いの進め方について考えよう ・話題や展開を捉えて話し合おう ・漢字に親しもう4	1	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	・文法のテストの正解率が50%以上である。	・小テスト	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	B 書くこと ・根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 C 読むこと ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。	・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。 ・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。	【書く】 ・小テスト ・作文などの課題 ・詩歌創作 ・ノート 【読む】 ・小テスト	
	3	(共通項目)	(共通項目)		
1月 【いつも本はそばに】	1	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に	・文法のテストの正解率が50%以上である。		・補習 ・質問教室

・考える人になろう ・漢字に親しもう５ ・単語の性質を見つけよう（文法３） ・さまざまな表現技法（言葉３） ・漢字の成り立ち（漢字３） ・漢字に親しもう６		注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。			・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	B 書くこと ・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。 C 読むこと ・目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。	・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。 ・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。	【書く】 ・定期考査 ・小テスト ・作文などの課題 ・詩歌創作 ・ノート 【読む】 ・定期考査 ・小テスト	
	3	（共通項目）	（共通項目）		
2月～3月 【自分を見つける】 ・少年の日の思い出 ・二十歳になった日 ・構成や描写を工夫して書こう ・一年間の学びを振り返ろう ・ぼくがここに	1	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。	・文法や用語のテストの正解率が５０％以上である。 ・語彙の習得に努め、多様な表現に生かすことができる。	・定期考査 ・小テスト ・暗誦テスト ・聞き取りテスト ・音読テスト ・毛筆、硬筆課題	・補習 ・質問教室 ・課題の添削 ・再提出での取り組み方フォロー ・未提出物連絡
	2	A 話すこと・聞くこと ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 B 書くこと ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。 C 読むこと ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基に捉えることができる。	・聞き取りテストの点数が５０％以上である。 ・定期考査で「書くこと」に関する問題の正答率が５０％以上である。 ・定期考査で「読むこと」に関する問題の正答率が５０％以上である。 ・様々な形式の討論（ディベート、グループディスカッションなど）の特徴を理解し、状況に応じて適切に発表することができる。 ・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。 ・読み物や調べた内容をもとに、伝え方を考え、書き方に注意して、読み手を意識した文章を書くことができる。 ・新聞の書き方やレイアウトの効果を理解し、的確に文章を書くことができる。 ・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉え	【話す・聞く】 ・スピーチ ・プレゼン発表 ・定期考査 ・小テスト ・暗誦テスト ・聞き取りテスト ・朗読テスト 【書く】 ・定期考査 ・小テスト ・作文などの課題 ・詩歌創作 ・ノート 【読む】 ・定期考査	

			たり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。 ・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。	・小テスト	
	3	(共通項目)	(共通項目)		